

製品安全性データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : フレックスカートリッジ 血清鉄 IRN (品目コード:DF49A)
 会社名 : シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
 住所 : 〒141-8673 東京都品川区東五反田 3-20-14
 電話番号 : 03-3537-3939 コールセンター
 改定番号 : 3.0

チオ尿素

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : チオ尿素(1.43%)を含有する製剤(混合物)

化学名又は一般名 : チオ尿素(Thiourea)
 別名 : チオカルバミド(Thiocabamide)
 化学式又は構造式 : $\text{CH}_4\text{N}_2\text{S}$
 含有量 : 1.43%
 CAS 番号 : 62-56-6
 官報公示整理番号(化審法・安衛法) : (2)-1723
 分類に寄与する不純物及び安定化添加物 : 情報なし
 推奨用途及び使用上の制限 : 体外診断用医薬品

3. 危険有害性の要約

健康に対する有害性:	急性毒性(経口)	区分 4
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2B
	皮膚感作性	区分 1
	発がん性	区分 2
	生殖毒性	区分 2
	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分 3(気道刺激性)
	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分 1(甲状腺)
環境に関する有害性:	水生環境急性有害性	区分 2
	水生環境慢性有害性	区分 2

絵表示又はシンボル:



注意喚起語: 危険

危険有害性情報: 飲み込むと有害(経口)

眼刺激。アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ。発がんのおそれの疑い。生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。呼吸器への刺激のおそれ。長期又は反復ばく露による甲状腺の障害。水生生物に毒性。長期的影響により水生生物に毒性

注意書き: 【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。適切な保護手袋を着用すること。必要に応じて個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。粉じん、ヒュームの吸入を避けること。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。取扱い後はよく手を洗うこと。環境への放出を避

けること。

【救急措置】

吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。皮膚に付着した場合、皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。取り扱い後はよく手を洗うこと。眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。飲み込んだ場合、口をすすぐこと。飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当て、診断を受けること。漏出物は回収すること。

【保管】

容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。国内法は第 15 章「適用法令」を参照のこと。

国・地域情報：

4. 応急措置

吸入した場合：被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の手当て、診断を受けること。

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。医師の手当て、診断を受けること。汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

目に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。医師の手当て、診断を受けること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。医師の手当て、診断を受けること。

予想される急性症状及び遅発性症状：吸入：咳。
皮膚：刺激、発赤、炎症、アレルギー反応。皮膚吸収性あり。
眼：刺激

応急措置をする者の保護：救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項：情報なし

5. 火災時の措置

消火剤：小火災：粉末消火剤、二酸化炭素、散水。
大火災：散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤

使ってはならない消火剤：情報なし

特有の危険有害性：可燃性物質：燃えるが、容易に発火しない。加熱により容器が爆発するおそれがある。火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。屋内、屋外又は下水溝で蒸気爆発の危険がある。

特有の消火方法：危険でなければ火災区域から容器を移動する。引火点が極めて低い：散水以外の消火剤で消火の効果が大きい大きな火災の場合には散水する。消火活動は、有効に行える最も遠い距離から、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。

消火を行う者の保護：消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣(耐熱性)を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避け

環境に対する注意事項:	る。漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。風上に留まる。低地から離れる。密閉された場所に立ち入る前に換気する。
回収、中和:	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法・機材:	漏洩物は清潔な帯電防止工具を用いて、密閉できる空容器に回収する。
二次災害の防止策:	危険でなければ漏れを止める。 すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い:	
技術的対策:	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気:	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気・全体換気を行う。
安全取扱注意事項:	使用前に使用説明書を入手すること。すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。排気用の換気を行うこと。粉じん、ヒュームの吸入を避けること。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。接触、吸入又は飲み込まないこと。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。取扱い後はよく手を洗うこと。環境への放出を避けること。
接触回避:	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管:	
技術的対策:	保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
混触危険物質:	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管条件:	熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。禁煙。酸化剤、混触危険物質から離して保管する。施錠して保管すること。
容器包装材料:	国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度:	未設定
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標):	
日本産衛学会:	未設定
ACGIH:	未設定
設備対策:	粉じんが発生する場合は、局所排気装置を設置する。高熱工程で粉じん、ヒュームが発生するときは、換気装置を設置する。この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
保護具:	
呼吸器の保護具:	適切な呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具:	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具:	適切な眼の保護具を着用すること。保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具:	必要に応じて適切な保護衣、保護面を使用すること。
衛生対策:	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など:	白色結晶又は粉末
---------------	----------

臭い:	情報なし
pH:	データなし
融点・凝固点:	182°C(融点)
沸点、初留点及び沸騰範囲:	データなし
引火点:	データなし
爆発範囲:	データなし
蒸気圧:	データなし
蒸気密度(空気 = 1):	データなし
比重(密度):	1.4g/cm ³ (密度)
溶解度:	水に可溶。
オクタノール/水分配係数:	log Pow = (-2.36) (-0.95)
自然発火温度:	データなし
分解温度:	データなし
臭いのしきい(閾)値:	データなし
蒸発速度(酢酸ブチル = 1):	データなし
燃焼性(固体、ガス):	可燃性
粘度:	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性:	通常取扱条件下では安定。
危険有害反応可能性:	アクロレイン、強酸、強酸化剤と激しく反応する。
避けるべき条件:	混触危険物質との接触。
混融危険物質:	アクロレイン、強酸、強酸化剤。
危険有害な分解生成物:	燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物などを発生する。

11. 有害情報

急性毒性:	飲み込むと有害(経口)
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:	眼刺激
呼吸器感作性又は皮膚感作性:	アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ。
発ガン性:	発がんのおそれの疑い
生殖毒性:	生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露):	呼吸器への刺激のおそれ
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露):	長期又は反復ばく露による甲状腺の障害

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性:	水生生物に毒性
水生環境慢性有害性:	長期的影響により水生生物に毒性

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装:	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意: 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。食品や飼料と一緒に輸送してはならない。重量物を上積みしない。

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法):

第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)(政令番号 第181号)

化審法:

第2種監視化学物質(法第2条第5項)

船舶安全法:

毒物類・毒物(危規則第2, 3条危険物告示別表第1)

航空法:

毒物類・毒物(施行規則第194条危険物告示別表第1)

薬事法:

体外診断用医薬品

16. その他の情報

参考文献

化学物質排出把握管理促進法 PRTR・MSDS 対象物質全データ 化学工業日報社

労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ 化学工業日報社

GHS モデル MSDS 情報 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP

このデータは作成の時点における知見によるものですが、かならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。